やる気 笑顔 元気

稲荷第一小学校
学校だより 12号
令和６年2月1日

※学校ホームページもぜひご覧ください　→　http://www.magokoro.ed.jp/inaridai1-e/

本校が目指す「コミュ力」と本中学校区が目指す「コミュ力」とは…

本校の児童が大すきな「英会話活動」「外国語活動」「外国語科」は英語を学ぶ学習です。昨年度の R4 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙によると、本中学校区の児童生徒は「コミュ力」と「プレゼン力」における課題が数値に表れていました。そこで、今年度は R5 中学校区が一つになって「コミュ力」と「プレゼン力」育成に向けたプログラムを立ち上げ、実践しています。コミュ力は「英語が好きになる児童生徒を増やすこと」プレゼン力は「相手にわかりやすく説明する力を付けること」を目標にしています。そのために、英語を学ぶ時間を工夫し、できるだけ担任の先生方を前面に出した授業の展開や、小小連携や小中連携でオンライン交流会等を企画して行っています。

直山木綿子先生との出会い

文部科学省直山視学官による外国語科の授業。子どもたちや参観者を引き込む授業力に圧倒されました。引き出す話術に真剣勝負の張り詰めた空気が重なり、子どもたちが夢中になっていました。

放課後の小中一貫合同研修会では、先生方も集中し、児童間対話を進めるための、授業のテクニックを学びました。市内から AET が６名参加し研修会を盛り上げ、先生方の苦手意識の解消に繋がっています。

農家　一澤ユアナスさんとの出会い〈渋井町在住〉　５年生に語る農業の楽しさとは…

フィリピン出身の一澤ユアナスさん。R51 号大洗に向かって左側の広大な田んぼで稲作に取り組んでいらっしゃいます。日本に来た目的は「農家が減り、日本人が食べる食糧不足に貢献したい」ということ。困っている人に当たり前のことができるようになりたい。とさらっと人生論を語り、子どもたちを釘付けにしました。将来の仕事として「農業」もいいかも…とつぶやく女子児童がいました。

農業に携わる地域の方を招聘しての授業でした。「農業はもうかりますか」の問いに誠実に答えてくださいました。答えは「もうかります」と。そして、年間 150 トン収穫した米の一部を毎年、児童養護施設に届けている話もうかがいました。それはフィリピンにいるお母様の教えからだそうです。

一澤ユアナスさんのお人柄に触れ、最後は子どもたちが群がる場面もありました。これもコミュ力育成の取組の一つです。将来の自分の姿がイメージできた１時間でした。